

平成26年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立放課後児童クラブ	所管課	子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成27年3月31日	利用料金制導入	なし(指定管理料のみ)
導入年月日	平成23年4月1日	指定回数	1回
施設設置目的	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図る		
施設概要	福岡放課後児童クラブ(定員70名、延床面積168.93㎡)、第2福岡放課後児童クラブ(定員26名、延床面積86.12㎡)、駒西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積192.53㎡)、上野台放課後児童クラブ(定員70名、延床面積199.57㎡)、西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積164.79㎡)、第2西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積220.27㎡)、元福放課後児童クラブ(定員70名、延床面積152.37㎡)、さぎの森放課後児童クラブ(定員66名、延床面積149.05㎡)		
管理運営の基本方針	児童クラブ施設の管理について、児童福祉法及びふじみ野市立放課後児童クラブ条例の趣旨に則り、児童クラブ設置の目的を効果的に達成することを目的とし、住民サービスの向上と業務の効率化を目指す。		
指定管理者の主な業務	放課後児童クラブの保育実施に関すること。 児童クラブの施設、設備等の維持管理に関すること。		

【評価項目】

【評価基準】 5: 目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合 / 4: 目標値以上の結果(5以外) / 3: 目標値に達している場合 / 2: 目標値をやや下回る場合 / 目標値を大きく下回る場合

1 指定管理者の健全性

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか また、団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか	評価
特記事項 (問題等があった場合)	3

2 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
	平均登録人数	476 人	424 人	113.1%	89.1%	
(特記事項)						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由		
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び設備の維持管理に関する業務 施設の運営に関する業務 児童の安全に関すること 施設等の利用に係る相談等に関する業務 指定管理者に付帯する業務 その他の業務 		基本協定、仕様書どおり適切に実施されていた。		
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 長期休み(夏休み・冬休み・春休み)の一時保育 延長保育 昼のお弁当注文サービス 		左記について、自主事業の協議書のとおり実施された。			
サービス向上の取組	平成26年度は、保育技術、地域交流、障がい児対応、危機管理、個人情報保護、救命救急など多くのテーマについて、内部18回・外部11回の研修を実施し、延べ639名が参加した。さまざまなテーマについて各職員に受講させ、サービスの総合的な向上を図っている。					

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート	
	(2) 調査、会議等の内容 【実施時期】平成27年1月7日～1月17日 【調査方法】利用保護者に対し、アンケートを実施。 【調査項目】①保護者への対応②子育てに関する相談対応③情報提供④指導員と児童の関係⑤児童同士の関係⑥保護者同士の関係⑦保育内容⑧行事⑨遊具・施設⑩おやつ提供⑪利用時間⑫保護者懇談会実施方法⑬総合印象	
利用者からの評価・要望・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 回答を「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満足」「不満足」の選択制で調査を行った結果、「満足」～「ふつう」は各項目で86%以上であった。 ⑬総合印象は、「満足」「やや満足」と76.5%が回答し、全体として高評価となったが、昨年度より2.9%低下した。(満足46.4%、やや満足30.1%、ふつう18.9%、やや不満足1%、不満足2%、未回答1.5%)	3
	(1) 良好とする評価 ・いつも子どもたちが楽しめる保育イベントを子どもたち目線で考えてくれている。 ・子ども同士のトラブルがあった際、しっかりと子どもの話を聞いて下さるので、子どもも信用していると思います。 ・連絡帳に日々の出来事をこまめに記入してくれる。 ・手作りおやつがありがたい、また、あたたかいものをあたたかいうちに提供するなど、工夫がみられる。 ・安心して仕事ができるのは、児童クラブのおかげです。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・施設が古く、児童数に対して狭い。トイレについて男女一緒が嫌。 ・心ない言葉を発する上級生がいる。乱暴な言葉遣いの児童がいて不安。 ・子どもが先生として敬う気持ちが足りない。敬語までいかずとも言葉遣いから育まれると思うので、正しい言葉で指導頂きたい。 ・延長保育料が高い。開室時間を午前7時30分～午後8時までにしてほしい。 ・地区(運営者)でサービスが違うというのは不満。 ・保護者会について、平日では仕事の都合で参加できない。また、土日は予定があるので参加できない。 《対応措置》 ・老朽化した施設については、定員超過との兼ね合いも考慮のうえ優先順位を決め、順次建替え整備予定。 ・子ども同士のかわりについて、指導員により適宜指導し対処する。その際、児童の個々の個性に着目して、きめ細やかな対応を目指す。 ・延長料金は利用者が少なく指導員の残業扱いの対応となり、人材確保も困難であることから、実施を見送らざるを得ない状況となっている。 ・保護者会は、曜日、開催時間を変えるなど、より多くの保護者が参加されるよう引き続き工夫していく。 ・地区でサービスが違う点は、平成26年度より両地区の指定管理者と市による運営調整会議を実施し、統一を図るよう努めている。 ・その他、放課後児童クラブの主旨・目的と一致しない要望については、保護者に丁寧な説明をし理解していただくよう努める。	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成26年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		平成26年度決算		平成25年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
収入	利用料金		利用料金		歳入	保育料	35,835,238	施設使用料	28,716,000		
	指定管理料	108,000,000	指定管理料	108,000,000		行政財産使用料	4,228	行政財産使用料	4,228		
	自主事業※	1,182,000	自主事業※	1,056,000		国庫支出金		国庫支出金			
	その他収入		その他収入			県支出金	28,436,584	県支出金	27,294,000		
						その他		その他			
	計	109,182,000	計	109,056,000		計	64,276,050	計	56,014,228		
	支出	人件費	91,150,000	人件費		88,907,176	歳出	修繕料	1,417,439	修繕料	540,750
		設備管理費	1,510,000	設備管理費		1,491,577		保険料	59924	保険料	45,637
備品購入費		400,000	備品購入費	472,824	指定管理料	108,000,000		指定管理料	108,000,000		
修繕費		800,000	修繕費	814,049	業務委託料			業務委託料			
光熱水費		2,860,000	光熱水費	2,578,011	土地・建物賃借料			土地・建物賃借料			
事業費		1,950,000	事業費	1,842,276	その他	92,033		その他	77,673		
事務経費		2,330,000	事務経費	2,423,653							
本社経費		4,000,000	本社経費	6,830,034							
その他		3,000,000	その他	2,640,400							
計		108,000,000	計	108,000,000	計	109,569,396		計	108,664,060		
損益	1,182,000		1,056,000	差引	△ 45,293,346		△ 52,649,832				
自主事業※	収入	1,337,000	収入	1,184,400							
	支出	155,000	支出	128,400							
	自主事業損益	1,182,000	自主事業損益	1,056,000							
人件費比率【人件費/指定管理者事業支出】								82.3%			
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				放課後児童クラブの個別案件に対する本部・危機管理部等、専門部門対応によるものと、首都圏を中心とした組合員の連続研修、交換研修を行ったため増加した。							

5 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	3
	配置実績 統括責任者を1人以上、労務管理及び経理事務等の担当者を1名以上 各児童クラブに2人以上の常勤放課後児童クラブ指導員を配置(1人を責任者となる所長、1人を所長代理となる副所長、有資格者1人以上)児童数に応じた指導員配置 要支援児に対応する為の指導員加配		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	適	3
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	適	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	適	3
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	適	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	4
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	4
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	4
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 施設の設置目的の達成に関する取組

区分	具体的な取組の状況・実績	評価
児童の生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階にあわせ、対応を工夫するなどの取組が行われている。また、発達の遅れに対しても、研修をとおして理解を深め、児童が基本的な生活習慣を習得し、主体的に行動できるよう努めている。 今年度は、おやつ作りや1日保育時のお弁当作りを行い、児童が調理や片付けといった生活習慣の確立を図った。 	4
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は「第3回ぶんぶんまつり」を開催し、多くの地域の方の参画を得た。また、児童のダンス発表会や屋台の準備をとおし、自ら考え計画し、協力し行動するという、児童の成長にとって貴重な経験となった。 「かみふくおか七夕祭り」では、児童が竹飾りを作成した。作業の中で児童が協調性を身につけ、地域イベントにも貢献した。 西武バスの営業所見学・交通安全教室を実施した。この企画は、西武バスの協力のもと安全確保が図られており、地域企業との連携を深めるきっかけとなった。 	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 各指導員において、迎えの保護者との積極的な対話を図っている。仕事の都合などで、放課後児童クラブとのかかわりをなかなかもてない保護者については、おたよりの発行や連絡帳でのやりとりをとおして連携を図っている。 児童の養育に問題のある家庭については、市役所と連携するなど児童の健全育成のため、個別の児童・家庭の問題についても積極的に取り組んでいる。 	

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		子育て支援施設
総合評価	指定管理者の健全性	3	B		
	施設の有効活用	3			
	利用者評価	3			
	事業収支	3			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	4			
	施設の設置目的の達成	4			
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 全国的な組織で、運営基盤がしっかりとしている。このため、非常時における人材確保や資金調達等の対応能力は優れている。また、法人独自の苦情対策部署を持つなど、利用者のケアという面でも優位な点が多い。 保育の内容については利用者の総合印象評価で満足度76.5%のまずまず高い評価を得ている。 事業収支については、適正と認められる。 管理運営全般においては、封入ミスや提出書類に誤入力があるなど課題点が見受けられるが、その他は概ね適正である。 事故などに対する危機管理面では危機管理マニュアルを備え、内外の研修を全職員に受講させるなど、準備を行っており評価できる。また、台風後の被害状況確認や事故報告も早く評価できる。 設置目的については、よく理解し、保育内容・地域連携・家庭連携が行われており、評価できる。 			
取組・改善案等 (施設所管課)			実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項	
	<ul style="list-style-type: none"> 保育時間の延長 東西両地域のサービス内容に異なる点があること 	<ul style="list-style-type: none"> 保育時間の延長につき、必要な経費の試算等を行い検討してきたが、全国的に保育需要が高まる中、人材の確保が危ぶまれ、実施を見送っている。 平成26年度は、両地区の指定管理者と市による運営調整会議を定期的に行い、サービスの統一を情報の共有を目的として連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による保育人員の確保に協力し、開室時間延長の実現に向け準備を進めていく。 同事業の指定管理者が2団体いることは、お互いの良い点を取り入れ、また、改善点を共有することができるという側面があるため、引き続き、運営調整会議を担当課で、サービスの向上のため、連携を深めていく。 		

【指定管理者自己評価】

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

- ・常勤職員を仕様書以上に配置しました。・子ども達が主体的に関わることができる行事を充実させました。
- ・自主事業として、長期休業中の一時保育や平日の延長保育を行っています。また、保護者の負担軽減のため昼食のお弁当注文サービスを行っています。
- ・毎月「クラブだより」を発行し、各家庭への配布と学校へも届けています。
- ・新1年生の4月中の学校までのお迎えや防犯会議への出席、行事への参加や見学等、学校との連携を行っています。
- ・放課後子ども教室の支援員の方々との顔合わせが実現し、同じ学校に通う子供たちを間に、連携が始まっています。
- ・指導員を対象に各種の研修を行っています。特に食物アレルギーに緊急対応できるよう、アナフィラキシー補助治療薬の使用についても研修を行いました。
- ・利用者アンケートを実施し、保護者のニーズの把握に努めています。

② 業務の効率化に対する取組

- ・ゴーヤなどのつる植物を用いて、グリーンカーテンとし夏場のエネルギーの削減のひとつとしています。
- ・必要のない電気はこまめに消す、水は必要な分だけなど児童と一緒に節電・節水に努めています。
- ・土曜日の保育は同じ学校内のクラブは合同で行い、効率のよい運営を行っています。

③ その他

- ・ふじみ野市子育て支援課と協議をしながら連携に努めています。
- ・子ども達の楽しみのため、一日保育日を中心に市内への遠足や休日を利用しての電車に乗っての遠足を行いました。また、毎年恒例となっている「かみふくおか七夕まつり」への竹飾りの展示は、保護者の方々も楽しみにしてくれています。26年度もイトーヨーカドー上福岡東店の駐輪場をお借りして「ぶんぶんまつり」を地域の方のご協力のもと開催しました。
- ・26年度は「西武バス」のご協力で交通安全教室や、営業所訪問を行うことができました。
- ・「教育」という観点で食を捉え、クラブで野菜の栽培を行ったり、畑のおイモを収穫し、自分たちの口に入るおやつまでを直接掘ることや作ることで体験しました。また、夏休みには各クラブで「お弁当を作る日」を設け、メニュー決めから買い物、調理、お弁当箱に詰めるまで子どもたちが行いました。いつも作ってくれている家族の大変さも学ぶことができました。
- ・職場体験の受け入れや地域のお店の積極的利用など、地域と協力・連携することを大切に行っています。
- ・各クラブで行っている避難訓練の他、職員による机上での訓練、AED研修、消防署にお願いしての応急手当訓練を行いました。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・緊急事態や事故が起きた時の対応について、「これで大丈夫はない」と考え、応急処置をはじめとして危機管理に対する研修を重ね、今以上の対応ができる職員集団にしていきたいと考えています。
- ・開設日以外の保育状況の把握を行いたいと考えています。
- ・子ども達が、安全で楽しく過ごすことを中心に捉え、保護者や地域と連携を深めていきたいと思っています。

(3) 次年度以降の取組

- ・様々な角度から子ども達が見られるように、研修を重ねることや、保護者や地域の方と一緒に挙行講演会活動に取り組みたいと考えています。